

## 部下の教育に疲弊してしまった管理職・リーダーのための メンタルヘルスセミナー

今、部下の教育に疲弊している管理職・リーダーが増えています。自分自身も成果を求められる一方で、「何度言っても変わらず、言うことに疲れた」「いつまで経っても安心して任せられない」「なぜそうなる?!」と思うと、部下に対してイライラする」「退職されると困るので、非常に気を遣う」といった事で困っていませんか。社内相談窓口を設置するなどの対応をする企業も増加していますが、形だけ導入しても、逆に担当者が疲弊しメンタル不調・休職という事態を起こしかねません。

そこで、人材教育における“見立ての視点”を習得し、教育する側自身の自己理解を通しながら、感情に揺さぶられない自分をつくる方法についてお伝えします。

●日時 令和3年2月9日(火) 10時00分~11時30分

●場所 春日井商工会議所 1階 大会議室

●講師 (株)活コンサルタント 主任 <sup>かりや</sup> 假屋 翔太 氏

参加無料

### 【講師プロフィール】

小売業で3年間、チーフとして部門マネジメント及び新卒採用業務を兼任。その後、キャリア教育のNPO法人に転職。厚労省認定事業の地域若者サポートステーションにて施設センター長、総括コーディネーターを務め、延べ3500名以上の若者の就労に携わる。現在は、民間企業の従業員へキャリアコンサルティングを行いながら、企業課題の抽出をし、組織改善に活かしている。また、職場参加型の業務カイゼンのコンサルティング、教育機関でのメンタルの講師を務める。  
《国家資格キャリアコンサルタント》



- 内容
- ①教育で疲弊しないために必要な3つのポイント
    - ・自己理解・部下理解 ・個人支援と環境支援の両輪 ・教育する側に自己理解が必要な理由
  - ②教育する上で押さえておくべき見立ての視点
    - ・「見立て」とは ・感情を揺さぶる投影現象 ・「見立て」の4つの視点と事例紹介
    - ・教育にメンタルヘルスの視点が必要な理由
  - ③1対1面談導入のポイントと注意点
    - ・面談のタイミング ・「本音で話す」の落とし穴 ・面談の取り入れ方と注意点
  - ④働く人を支える体制と仕組みづくり
    - ・個人と会社の社会資源の活用

●定員 40名(1事業所 1名まで)

●申込み 下記URL または、QRコードからお申込みください。

申込先 URL : <https://forms.gle/DiLzdwNzhg3rq9wR6>

※FAXでのお申込みを希望する方は、当所ホームページより申込書をダウンロードして下さい。

●問合せ 春日井商工会議所 事業推進課 TEL 0568-81-4141



## メンタルヘルスセミナー申込書

●日 時 令和3年2月9日（火） 10時00分～11時30分

●場 所 春日井商工会議所 1階 大会議室

●講 師 (株)活コンサルタント 主任 假屋 翔太 氏

令和 年 月 日

|       |  |       |  |
|-------|--|-------|--|
| 事業所名  |  |       |  |
| 所在地   |  |       |  |
| T E L |  | F A X |  |
| 参加者氏名 |  |       |  |

※ご記入頂いた情報は、商工会議所からの各種ご案内・情報提供に利用するほか、今後の参考とさせていただきますために利用することがあります。

### ～新型コロナウイルス感染症対応について～

- ・当日は必ずマスクを着用のうえ、ご参加ください。
- ・咳や発熱など風邪の症状がある場合には参加をご遠慮いただくことがあります。
- ・会場入り口に消毒液を設置し手消毒の徹底や、検温を実施します。
- ・職員はマスクを着用し、業務に従事します。